選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	岩中伸司
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted] 68局3361番

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

新社会党
岩中伸司
昭和三十三年十月二十日生

岩中伸司の決意

格差社会に抗し
県民のための
県政をめざします

※平和憲法を守り、差別のない平和で活力のある地域づくりをめざします
※競争でなく共生の社会、男女が平等に活躍できる社会をめざします
※安心して暮らせる社会福祉の充実をめざします
※大企業や金持ち優遇・不公平税制をやめさせ、消費税に反対します
※競争主義の教育に反対し、のびのびとした教育をめざします。又、文化・スポーツの振興を図ります
※ＴＰＰに反対し、食料自給率向上、地産・地消で安全な食料の確保、有明海の再生など活力のある農林漁業の推進に努めます
※中小商工業の振興と企業誘致に努力します
※正規雇用の拡大、労働条件改善などをはじめ、労働者の権利を守るために努力します
※自然を守り、環境保全に努力します

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	溝口芽治
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted] 0966 22-5800

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

地方に実感を！

見せます　伝えます　つなげます

みぞぐち幸治（こうじ）

地方創生はくまもとから
～先ずは、景気回復に全力投球～

「くまもと」の基幹産業である農林水産業、先人達が守り伝えてきた歴史、伝統、文化を基本とし、地域の資源をフル活用して、官と民とが連携し住みやすい地域環境を作る。

日本再興はくまもとから

- 戦後70年を迎える節目の年に、満州事変から始まるこの戦争の歴史を十分に学び、今後の日本のあり方を考える。
- 安全保障のあり方、憲法改正に向けた環境づくり、正しい日本地図を日本の子供達に、道徳用郷土資料「熊本の心」「家庭教育支援条例」の充実した取り組みの推進

真の豊かさを実感できる球磨人吉づくり

- 子育てするなら人吉球磨！幼・保・小・中・高の連携、地元就職までの環境整備
- 次の高校再編に備え新しい学校、及び人吉高校、球磨工業、球磨支援学校の充実強化
- 住み慣れた地域で安心して老後が送れる環境整備

スマートインターチェンジ早期完成

- 現在のインターがある鬼木町農免道路の渋滞解消
- 球磨川南側、国道219号沿いの方々の利便性向上
- 県境、他県の方々の利用が増えることによる経済効果
- 平成31年度完成に向けての取り組みを加速化。

日本遺産認定に向けて

青井阿蘇神社をはじめとする歴史的建造物、相良三十三観音やその他の有形無形の文化財、世界ブランドの球磨焼酎、鉄道遺産などをさらに磨き上げ、人吉球磨が歩んできた道・物語に光をあて、九州広域観光ルート等の核の一つとなることを目指し、球磨人吉全体の活性化を図る。

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	早田順一
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted] (0968)42-8088

写真はここに貼らないで添付してください。（写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。）

早田順一

私は一人の熊本県民です。

両親、高校生の娘と山鹿市鹿北町で日々の生活を送っています。

二期八年県議会議員として活動するなかで、県民のみなさんとの対話の大切さを実感しました。

人口減少するなかで必要なことは、地域コミュニティの再構築、地域の特徴を生かした地域活性化（地方創生）です。

そして、公正公平な行政のスタンスとしがらみのない県民のための政治をモットーに取り組んでいきます。

皆様のご支援・ご指導よろしくお願いします。

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	渕上　陽一
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted]

写真はここに貼らないで添付してください。（写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。）

渕上陽一

山鹿を元気に！
全力投球

［主な経歴］

昭和四十年三月十八日生まれ（五十歳）
昭和五十八年　城北高等学校卒業
昭和五十八年～平成八年
　熊本県果実農業協同組合連合会
平成八年～十三年　参議院議員公設秘書
平成十三年～十八年　（株）青木工務店
平成十九年　熊本県議会議員初当選
平成二十三年　熊本県議会議員二回目の当選

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	高木 健次
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted]

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（縦約九センチメートル横約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

自由民主党公認

高木けんじ

皆様にお約束します

私は、日本国民、熊本県民としての誇りを大切にし、熊本県および合志市の発展に全力を尽くします。

これまでの経験と実績を未来に活かし県議会議員としての使命と職責を信念を持って果たします。

先見性と実行力

みなさんの暮らしを見つめ
明るい熊本づくりに取り組みます

主な経歴

昭和二十四年　合志市生まれ
昭和六十一年　合志町議会議員
平成十三年　熊本県町村議会議長会会長
平成十九年　熊本県議会議員
現　熊本県議会厚生常任委員長
〃　合志市卓球協会会長

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	内野幸喜
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted] 0968-78-6571

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

自由民主党公認

内野こうき

（42才）

地方の元気が日本の活力!!

●地域が主役の地方創生

地方創生の主役は、それぞれの自治体です。玉名地域の各自治体と国、県とのコーディネート役として、各町が持つ特色や個性に応じた地方創生に取り組み、魅力ある玉名地域の実現と活性化につなげます。

●安心・安全の実現

子どもから高齢者、障がいのある人まで、誰もがお互いに尊重し、生きがいを持って、自分らしく暮らすことができる地域を実現させます。

また、自助・共助・公助を基本とした地域の防災力を高めるとともに、地域住民の方々の安心・安全に寄与するインフラ整備を推進します。

●挑戦する若者を応援！

今の日本の若い人は、内向き志向が強いと言われます。グローバル化が進展する中、学業、芸術、文化、スポーツ等、熊本から羽ばたき、日本の将来を背負って立つ若い人のチャレンジを積極的に応援します。

●稼げる農林水産業

農林水産業が盛んな玉名地域。ブランド化や六次産業化に取り組み、稼げる農林水産業の実現を図ります。

●くまもとの魅力発信

ラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権等を通して、熊本の魅力を世界へ発信し、熊本の認知度向上と活性化につなげます。

地域力UP↑

経歴

熊本県立玉名高等学校卒業
専修大学経済学部経済学科卒業
平成19年 熊本県議会議員選挙当選（１期目）
平成23年 熊本県議会議員選挙当選（２期目）
熊本県議会環境対策特別委員会副委員長
熊本県議会総務常任委員会委員
有明海自動車航送船組合議会議員
学校法人玉名学園評議員
自由民主党熊本県連青年局次長
元玉名JC監事、元長洲町商工会青年部長　等

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	山本秀久
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted]

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

山本 秀久
自由民主党

山本の行動の信条は、常に
「誠心誠意」です。

今期の政治姿勢

◎ 地方創生

国が推進する地方創生の政策が、県南の水俣芦北に波及し、その効果が着実に機能することを、目指して行動します。

◎ 経済の活性化

地域経済の活性化は、住民生活に直結した政策です。市や町の政策に、結びつき、効果が得られることを目指します。

◎ 第六次振興計画

水俣芦北地域振興計画は、当初の計画から、水俣芦北地域の政策の根幹をなすものと確信し、その推進に全力を捧げます。

郡民の皆様の、温かいご支援を、心からお願い致します。

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	松田三郎
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted]

写真はここに貼らないで添付してください。〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

自由民主党公認
松田 三郎（まつだ さぶろう）

政治は、「誰が」「何を」「どのように」「やる」かが大事です。では「何を」やるのか？

松田 三郎が やる。

●「地方創生」を球磨地域の隅々まで行き渡らせる！

そんな簡単にできるの？

やらなければならないのです。

地方にとって人口減少に歯止めをかける最後のチャンスです。しかも、農林業、商工業、福祉、教育、環境などあらゆる分野の振興・充実に資するのです。市町村との連携・協力を更に密にして必ずやりとげます。

●めざせ「日本遺産」認定！

そんな簡単にできるの？

やらなければならないのです。

球磨地域に点在する多くの文化財、球磨焼酎、鉄道遺産などを一つの大きなストーリーで結びつける（県内で唯一申請）。認定を受ければ地方活性化の起爆剤となり、観光客も増え、交流人口も増える。必ずやりとげます。

主な経歴

- 昭和三十九年九月十一日生（五〇歳）
- 人吉高校卒業（昭和五十八年）
- 中央大学法学部卒業（平成元年）
- 平成十一年初当選以来、四期連続当選
- 厚生・総務・経済・農林水産各常任委員長
- 熊本県議会副議長（平成二十二年）
- 自民党熊本県連政調会長（平成二十三年～現在）

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	

選挙公報掲載文原稿用紙

候補者氏名	おがた　勇二
選挙公報担当責任者の氏名及び電話番号	[redacted] 0966－45－0311

写真はここに貼らないで添付してください。
〔写真は、無帽上半身の手札型（横約九センチメートル縦約十三センチメートル）で白黒写真のこと。〕

自由民主党公認

おがた　勇二

燃やせ情熱！球磨の底力!!

『つなぐ伝統！拓く未来！』



【主な経歴】

昭和35年8月28日生まれ（54歳）
昭和54年3月　熊本県立球磨工業高校卒業
平成20年4月　あさぎり町議会議員選挙初当選
平成23年4月　熊本県議会議員選挙初当選

私は目指します

愛する郷土、球磨・人吉の持っている成長エンジンは、**【農林業の再生】**と考えます。稼げる農業・稼げる林業の確立を目指します。

農林業の再生なくして、**【地方創生はないと考えます】**

【日本遺産を目指して】点在する文化遺産を保存活用し・観光資源の掘り起こし・交流人口の増加・おもてなしの心の醸成

【地方創生の柱石はＪＡ！】農業・農村所得倍増目指しての改革であるべき！

■価格転嫁の出来る農畜産物ブランド化の推進
■外貨の稼げる農林業確立の推進
■都市と地方の格差是正の為のインフラ整備の推進。

農林業の再生なくして、商工業の発展は無いと考えます。

【教育は、球磨・人吉で】を目指します。恵まれた環境の中で、文化薫る教育環境の整備は、移住・定住の促進に欠かせません。

■鉄道事業と、きめ細なバス事業の一体化の推進
■障害を持った子供達の雇用の創出

地域を守り、育て、伝えて行く人々が誇りを持てる、球磨・人吉へ失われつつある絆を大切に守り育てつたえて行く。

熊本県選挙管理委員会

受付年月日	受付番号
年　月　日	